

血液がん—「新たな治療と新たな課題」

日時：2013年7月21日(日) 12:40~17:00

会場：慶應義塾大学日吉校舎・協生館(藤原洋記念ホール)

血液がんの標準的治療と最近の治療の進歩について概説します。今回は従来取り上げてきた疾患だけでなくより多岐にわたる血液がんについての理解を深めることを目的として3部から構成される会としました。

第一部は初心者コースとして、現状での血液がんの病態や治療、新しい治療薬を評価する臨床試験/臨床治験について基礎的な知識を深めてください。自分とは違う血液がんとその治療についても是非一緒に話を聞いてください。その概略を理解することで、あなた自身の病気をより深く知り、より良い治療選択をする上で、大いに役立つと思います。第二部では、各疾患でグループに分かれ、専門医を交えて皆さんの病気の治療の進歩を共有していきます。小児科分科会では、米国小児がん治療研究グループ(COG)の新薬部門の責任者の一人で、Children's Memorial Hospitalの土屋信子先生をお招きして、生涯にわたっての健康管理、成人病対策、内科への移行、二次がんへの注意など治ようになった小児がんだからこその課題についてとりあげます。また「私と血液がん治療」の分科会では、より良い闘病について、何人かの経験者ファシリテーターと共に本音を交えて語り合います。答えだけでなく、安心そして共感を持ちかえるようにしてください。第三部では、ほとんどのがんが長期に闘病する疾患となったいまだからこそ「暮らしながらの治療、治療しながらのより良い暮らし」について考えます。

尋ねたい事があれば、どんなに個人的な問題でも遠慮せず質問用紙を出してください。専門家のアドバイスを皆で共に聴いて、闘病生活のヒントをたくさん掴んでいただき、この会が日頃の疑問や不安の「解決の1日」となることを期待しています。

PROGRAM

12:40~13:30

I 全体会(1)—血液がんの病態と治療についての基本的な知識をもとう

座長 中通総合病院 渡辺 新 司会 NPO法人血液情報広場・つばさ 橋本 明子

血液がん(分科会で扱う疾患)の基本知識

頻度の多い疾患だけではなく、最近増加している慢性リンパ性白血病(PLL)や新たな治療が開発された成人T細胞性白血病(ATL)にもふれて、造血器腫瘍がなぜ起こるのか、その治療の目標(到達点)をどのように設定するのか、そしてその目標達成のため治療法はどのように選択するのかなどについて、広い視野に立ってわかり易く説明します。

慶應義塾大学病院 血液内科 岡本 真一郎

13:40~15:30

II 疾患別Q&A分科会—各分科会同時進行—

分科会司会は各疾患グループ代表等

◎骨髄増殖性腫瘍(真性多血症、骨髄線維症、本態性血小板血症)	講師 順天堂大学医学部附属順天堂医院 小松 則夫
◎骨髄性腫瘍(骨髄異形成症候群、急性骨髄性白血病)	講師 慶應義塾大学病院 血液内科 森 毅彦
◎多発性骨髄腫	講師 日本赤十字社医療センター 血液内科 鈴木 憲史
◎リンパ性腫瘍I(急性リンパ性白血病)	講師 自治医科大学附属さいたま医療センター 神田 善伸
◎リンパ性腫瘍II(非ホジキンリンパ腫、ホジキンリンパ腫)	講師 東京虎の門病院 伊豆津 宏二
◎慢性骨髄性白血病	講師 慶應義塾大学病院 血液内科 岡本 真一郎
◎小児血液がん~小児がん治療と生涯にわたる健康管理	講師 Children's Memorial Hospital 土屋 信子
◎私と血液がん治療~より良く過ごすために、語り合って・分かち合って	講師 慶應義塾大学病院 近藤 咲子

15:40~17:00

III 全体会(2)—暮らしと血液がん

座長 慶應義塾大学病院 血液内科 岡本 真一郎 / 看護師長 近藤 咲子

治療の認知発達における影響とその対処方略—小児白血病を中心に—

国立成育医療研究センター 佐藤 聡美

父か母ががん治療を受けるとき—その子供たちを支援する

東京共済病院 がん相談支援センター 大沢 かおり

より良い血液がん治療の受け方~総合アドバイス

小松 則夫、鈴木 憲史、神田 善伸、伊豆津 宏二、渡辺 新

参加方法

お申し込みは **FAX** または **メール** お申込締め切り **7月12日(金)**

参加受け付けは 6月12日～7月12日。申し込みが間に合わなかった方は、12日以降はお電話でご相談ください。

つばさ/慶應義塾大学医学部共催講座事務局 (JTBコミュニケーションズ)
FAX:0120-206-170 (フリーダイヤル) E-mail:info@kujimu.jp

お名前(ふりがな)

(患者会に所属されている方は会の名称をお願いします。)

ご住所

〒
(部屋番号までご記入ください。)

ご連絡先

TEL :

FAX :

同伴者人数

人

車椅子ご利用者人数

人

参加希望分科会

分科会のご参加希望はおおよその人数把握のためです。代表申し込み者の現時点の希望のみでかまいませんので して下さい

- 骨髄増殖性腫瘍 骨髄性腫瘍 多発性骨髄腫 リンパ性腫瘍 I
 リンパ性腫瘍 II 慢性骨髄性白血病 小児科 私と血液がん治療 (ご希望に をお願いします)

直前のお申し込みで参加証の届いていない方は、当日直接受付までお越し下さい。

申し込みに関する問い合わせ

TEL : 0120-515-744 (フリーダイヤル)
(土日、祝日を除く 10:00-17:00)

今回ご提出頂きます個人情報につきましては、事務局の業務範囲内に限定し、第三者に提供することはありません。

※事前質問の受付 ※個別相談ではありません

○A4以下の紙1枚に、下記の①～④を書いて送って下さい。(締め切りは7月5日必着)

FAX送付の場合 つばさ/慶應義塾大学医学部共催講座事務局(JTBコミュニケーションズ) 0120-206-170(フリーダイヤル)

郵便送付の場合 〒162-0041 東京都新宿区早稲田鶴巻町533 早稲田大学前郵便局々留 NPO法人血液情報広場・つばさ 市民公開講座係

- ①病名 ②患者さんの性別と年齢
③ご質問(相談) ※2件までで1件は200文字程度。病院名と医師名は書かないでください。ただし電話でお尋ねする場合があります。
④ご相談者さんのお名前(会場に見える方。患者さんとの関係)
ご連絡先電話番号(必須です。個人情報として扱いますが、質問内容を確認させていただく場合のためです)。

※寄せられた質問(ご相談)は、全体会・講演、疾患別分科会Q & Aなどで対応されます。他の参加者のみなさんと一緒に先生方のアドバイスを聴き、より良い治療選択にいかしましょう。

※「こんな個人的なことでもいいのかな」と迷われても是非送って下さい。案外たくさんの方が共通の疑問や不安を感じているものです。

※病気の理解、自分の場合はいつ移植を選択するか、白血病化したのだが再寛解導入の可能性はあるか、等々。

また、退院後の生活、家族の問題(夫婦生活は可能? 気持ちを理解されない等)、セカンドオピニオンの切り出し時…、なんでもこの際、どうぞ。

NPO 法人血液情報広場・つばさ 03-3207-8503 (月～金 12時～17時)

分科会司会進行役、開催広報等協力団体

NPO法人日本臨床研究支援ユニット(JCRSU)、NPO法人白血病研究基金を育てる会、JCRSU・がん電話情報センター、慢性骨髄性白血病(CML)患者・家族連絡会「いずみの会」、日本骨髄腫患者の会、骨髄異形成症候群MDS連絡会、NPO法人ライフポート、院内患者会世話人連絡協議会(HosPAC)、NPO法人ミルフィーユ小児がんフロンティアーズ、骨髄増殖性腫瘍患者・家族会(MPN-JAPAN)、GIST・肉腫患者と家族の会「GISTRES.net」

協力企業・つばさ賛助企業

ヤンセンファーマ株式会社、ノバルティスファーマ株式会社、 Bristol-Myers Squibb 株式会社、協和発酵キリン株式会社、中外製薬株式会社、日本新薬株式会社、セルジーン株式会社、株式会社ヤクルト本社、グラクソ・スミスクライン株式会社、ファイザー株式会社、大日本住友製薬株式会社、アステラス製薬株式会社、エーザイ株式会社、大塚製薬株式会社、富士フイルムRI株式会社